

9:30 ▶ 9:35 開会のご挨拶 一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会

基調講演

K1 センチュールーム

9:35 ~ 10:35

日産自動車におけるビジネス価値創造ブレークスルーへの挑戦 ~ 攻めのITへ ~
日産自動車の中期経営計画である「POWER88」達成のため、現在グローバルIS/IT戦略「VITESSE」の最終フェーズを強力に推進しています。この「VITESSE」の全貌とともに、ビジネス価値創造に向けた具体的なブレークスルー事例を紹介します。



日産自動車株式会社 グローバル情報システム本部 理事 能丸 実氏

12:00 ▶ 12:45 ランチョンセッション

クラウドがもたらす変化をうまく御してゆくには ~現状の延長線から新たなブレークスルーを創造する~

企業を取り巻くIT環境は変化し続けていますが、そのスピードや変化の大きさに組織や人がついて行くことが難しくなっています。このセッションでは、VMwareならではの技術動向やクラウド活用の事例を交えながら、クラウドがもたらす変化をどのように御してゆく(乗りこなす、使いこなす)かをご説明させていただきます。



VEIウェア株式会社 ハイブリッドクラウドサービス本部 シニア クラウドスペシャリスト 小坂 剛生氏

ネットとビジネスが停止する日 ~DDoS, Web攻撃のリスクとそのインパクト~

ビジネスやサービスの提供が深くネットとWebに依存しているにも関わらず、それらが簡単なサイバー攻撃で停止する可能性とビジネスインパクトは正確に理解されていません。脅迫を伴うDDoS攻撃「DD4BC」が日本に狙いを定めた今、IT部門と経営層は何を知りいかに備えるべきでしょうか?戦後70年を期に日本で脅威を増すDDoSとWeb攻撃の実態とそのリスクを世界のWeb通信の3割を司るアカマイがデータから読み解きます。



アカマイ・テクノロジーズ株式会社 マーケティング本部 プロダクト・マーケティング・マネージャー 中西 一博氏

13:00 ▶ 13:50 ユーザー事例セッション

リクルート新規事業「受験サプリ」におけるビジネスブレークスルーとそれを支えたIT組織の取り組み

2011年に立ち上げた受験サプリは、予備校業界におけるディラプターとしてイノベーションを起こし、今や大手予備校に匹敵する規模の会員数を有する教育サービスに成長しています。本講演では受験サプリの立ち上げにおいて直面した数々のハードルや、それを乗り越えた方法、IT組織としての取り組みをご紹介します。



株式会社リクルートテクノロジーズ ITマネジメント統括部IT戦略グループ マネージャー 土井 浩司氏

前例がないことだらけ! モバイル決済「コインー」のつくりかた

2013年3月に設立したモバイル決済サービスの「コインー」ハードウェアと決済の両方をやるなんて! 前例がないと言われた立ち上げ時から実際に組織を立ち上げてきたこれまでの紆余曲折をお話します。



コインー株式会社 代表取締役社長 佐俣 奈緒子氏

14:05 ▶ 14:55 コンサルティングセッション

ブレークスルー! ビッグデータ ~こんな企業が分析力を武器にしている

ビッグデータという言葉もすっかり定着し、企業の関心も高いようですが、国内では本格的なデータ活用に踏み出している企業はまだ限られており、まだ、データ分析力を企業競争力とするには課題も多くあるようです。本セッションでは、国内外の事例をご紹介します。既に導入を開始している企業はどのように課題を克服したのか、そして情報システム部門はどのような役割を果たしているのかをご紹介します。



日本ティコソフトウェア株式会社 カントリーマネージャ 黒塚 明彦氏

製造業・小売業における「アナリティクス経営」の実践 ~ビッグデータ分析の先進事例~

データ・アナリティクスが一部の業務ではなく、経営全般に影響を及ぼし始めました。膨大な顧客データやその取引データ、およびIoTやソーシャルデータなど、社内外のデータを掛け合わせた分析が生み出す価値が経営にインパクトを与えています。いわゆる「アナリティクス経営」の実現です。本セッションでは、進みつつあるアナリティクスのトレンド、先進事例、その成功要因を考察します。



日本テラデータ株式会社 コーポレート・エバンジェリスト/エグゼクティブ・コンサルタント 金井 啓一氏

15:10 ▶ 16:00 ユーザー事例セッション

「接続機能を持つタイヤ」がもたらす、IoT時代の競争戦略

「攻めのIT経営銘柄」に選出されたブリヂストンにおけるセンシング技術活用によるサービス革新の事例を紹介します。前半では、鉱山用車両タイヤやコンベアベルトに装着したセンサーデータ活用事例とIT部門の役割は? 後半では、弊社独自のタイヤセンシング技術「CAIS」についてご紹介いたします。走る・曲がる・止まるという力学特性で車両を支えてきたタイヤがITで今後どのように活用できるのかをお話しさせていただきます。



株式会社ブリヂストン ITネットワーク本部 ビジネスIT企画部長 永江 裕二氏



株式会社ブリヂストン 中央研究所 研究第6部 タイヤ情報研究ユニット 花塚 泰史氏

建設現場におけるワークスタイル変革を目指して

当社では、2012年に建設現場で施工管理を担う技術職員にタブレット端末3000台を一斉に配布しました。現場に届たまま資料の確認や業務処理ができる環境を整備するとともに、必要な情報をタイムリーに提供するコンテンツ整備も行いました。さらにコミュニケーションツールの利活用を取り上げ、建設現場におけるワークスタイル変革の実現に向けた取り組みをご紹介します。



株式会社大林組 グローバルICT推進室 副部長 太田 洋行氏

16:15 ▶ 17:05 コンサルティングセッション

「人工知能型」ERPが切り開く、エンタープライズITの新たな時代

もし、企業システムからすべての「入力作業」がなくなったら、現場の業務はどう変わるでしょうか。一瞬で表示されるサジェストキーワードや自動作業で入力作業は限りなくゼロに近づき、現場の生産性は大幅に向上します。それを実現するのは、「人工知能」と「分散処理」という2つのキーワード。

これまでの企業システムの常識を覆す新時代の「人工知能型」ERPが、エンタープライズITに革新を起こします。



株式会社ワークスアプリケーションズ 代表取締役最高経営責任者 牧野 正幸氏

時間あたりの価値創出の最大化を具現化するフレキシブルワークのすすめ

会社に閉じこもって長時間労働を続けていても、もはや企業成長のきっかけはつかめません。ITを活用した時間と場所を問わないフレキシブルワークは、新しい発想と実践次第で大きな可能性を秘めています。より短い時間での価値創出を実現するための考え方とユースケースをご紹介します。



株式会社 日立製作所 ITプラットフォーム事業本部 クライアント統合ソリューションビジネス開発ラボ 室長 板橋 正文氏

17:20 ▶ 19:00 交流会 (お気軽にご参加下さい)

特別講演

K2 センチュールーム

10:45 ~ 11:45

インテル 未来への挑戦 (仮)
今日、企業のマネージメントは急速な市場の変化に対応し、ビジネスの成長を達成しなければなりません。インテルでは、50年に渡りムーアの法則を継続しています。インテルは技術革新を通じ、より良い社会の創造に貢献しています。本講演ではビジネスの進化に欠かせないイノベーションと多様性の重要性について述べます。



インテル株式会社 代表取締役社長 江田 麻季子氏

これまでのセキュリティ投資を無駄にする標的型攻撃の現状 ~スピアフィッシングを引き金とする情報流出~

2015年も増え続ける企業・組織による一連の情報漏えい事件は我々に大きな疑問を残しました。大企業の「万全」なはずのセキュリティ対策が、なぜ、たまたまに攻撃者の侵入を許してしまうのでしょうか。これは「防御型」の対策は「完璧ではない」ということを世間に明示したとも言えます。本セッションでは従来のセキュリティ対策である「防御型」を生かしながら更に強固な防御を実行するため、検知後の対応や体制面からもセキュリティ対策を検討する重要性をお話いたします。



ファイア・アイ株式会社 最高技術責任者 (CTO) 名和 利男氏

始める勇気 ~予兆管理とアプリケーション性能管理~

「一歩先の未来を読む」それができたら、どんなに素晴らしいでしょうか。あるいは、その一歩先が読めなかったために、大変なご苦労をされたご経験をお持ちの方もいらっしゃると思います。今回、アイ・アイ・エムではアプリケーションの性能管理を含めた「予兆管理」について、システムオーナーとして管理すべき事は何か、クラウドなど最新のプラットフォームに潜む性能リスクは何か、を改めて考察します。是非ご来場ください。



株式会社 アイ・アイ・エム コンサルティング・フォー・コンピューターパフォーマンス 長浦 優氏

ICTを活用したワークスタイル変革が日本を救う

2050年には65歳以上1人を20歳から64歳の人1.2人で支えるという超高齢化社会を迎える日本。また、経済のグローバル化が加速し、企業の多くが海外比率を大きく増やそうとしている。このような社会環境の変化に対応するには、ICTを活用したワークスタイル(ライフスタイル)変革が重要です。事例を交えてワークスタイル変革の必要性とクラウドソーシング等の潮流から次のブレークスルーへの方向性についてお話しします。



日本電気株式会社 SI・サービス技術本部 本部長 丸山 幸夫氏

松花堂弁当つき

13:15 ▶ 14:55 ディスカッションテーブル

「枠」を破るIT部門へ ~ITのビジネス活用で収益に寄与する、コンシューマITを業務に活かす~



JFEスチール株式会社 IT改革推進部長 新田 哲氏

企業のIT部門の多くは、これまで主に既存ビジネスモデルの下で、主に業務効率化やコスト削減という「枠」内の役割を担ってきました。しかし、デジタルテクノロジーは急速に進化し、最終消費者の行動も変化しています。

IT部門が5年後、2020年にも存在意義を発揮しているためには、これまでの「枠」を破り、「デジタルビジネス」への取組みや「コンシューマIT」の活用にも役割と視野を広げる必要があるでしょう。

そのための考え方やアプローチ、手掛りについて、実際の取組み事例を踏まえ、皆さまと議論したいと考えます。

<2025年、普通的情シ> 「あれ?もう2025年だ!」とならないために、今から少しずつでもできること。



三井不動産株式会社 情報システム部長 古田 貴氏

10年後の情シの姿を想像して下さい。「ビジネスのデジタル化」「未来予測」「もうプログラムは作らない?」「情シはまだ存在するか?」一方「コスト削減」「セキュリティ対策」「グローバル化」「人材高齢化」...現在の課題も山積み。それでも今から少しずつ始めるべきことがあるはずですよ?絶対に。

カシオ計算機株式会社 情報開発部長 大熊 眞次郎氏
DIC株式会社 情報システム本部 本部長 千葉 隆氏
東京海上日動火災保険株式会社 IT企画部 部長 三宅 晃氏

ディスカッションサークル形式のセッションです。

ITでビジネスをドライブしよう! チョットマッテ、できるの?



株式会社DNP情報システム 執行役員 システム技術本部長 宮本 和幸氏

アサヒビジネスソリューションズ株式会社 執行役員 ソリューション本部 ビジネス企画統括部長 小熊 利章氏
T&D情報システム株式会社 経営企画部長 菅生 稔氏
日揮情報システム株式会社 取締役 経営企画部長 飯島 雅氏

昨年、IT活用の主戦場が守りの経営(バックオフィス)から攻めの経営(フロントビジネス)へと変化中、情報システム子会社は、本当に経営の期待に応えられているのでしょうか?その発信源はやはりビジネス部門内では? ITの専門家としてビジネスをドライブするために、我々の役割、スキルもブレークスルーが必要です。さまざまな試みが始まっているようです。いくつかの事例とともにディスカッションしましょう。

15:25 ▶ 17:05 ディスカッションテーブル

「ずいぶん思い切りましたね!!!」 ~システム・組織・ワークスタイル...新しい役割を実現するには



ココヨ株式会社 経営管理本部 情報システム部 統括部長 内田 一雄氏

・ITを活用してビジネスイノベーションを起動させる。
・IT部門が経営と業務部門をリード/牽引していく。
・ITによる経営を実現させる。

我々IT部門への期待は膨らむ一方で、しかし何が実現されているか、その期待に応えられたかと言えるでしょう。

曖昧なゴールの中で構想、実現するには、「思い切り」=意思決定が必要です。そこには、明確な意思決定に基づく取り組みもあれば、振り返って初めて高い地点に到達したと気づく場合もあるでしょう。本セッションでは、いくつかの事例から成功のコツや課題を共有し、皆様と一緒に、その先にあるゴールの姿を垣間見られたらと思います。

IT業界の未来はここにある! ~わーくわーくする働き方改革~



株式会社JTB情報システム 執行役員 調達管理部長 伊藤 誠氏

働き方が多様化している今日において、各社で新しい働き方を模索する取組がされています。各社の取組事例を通して、イキイクワクワした働き方は何か、実現に向けての課題は何かを皆さんと一緒に議論していきます。

ディスカッションサークル形式のセッションです。

株式会社エクサ 執行役員 エンタープライズ開発本部長 加藤 高明氏
株式会社NHK メディアテクノロジー 執行役員 情報システム本部 部長 梅田 智志氏
古河インフォメーション・テクノロジー株式会社 執行役員 エンジニアリング事業部長 續 公利氏

IoTはどう向い合ったらええのん



住友ゴム工業株式会社 IT企画部長 橋高 政秀氏

IoT、M2Mなど最近話題によくのぼりますが、どう企業に使うと効果がでるのでしょうか。また、IoTを適用する構想として、ドイツの「インダストリー4.0」などの動きがありますが、これらをIT部門がどう見ていくかディスカッションしていきましょう。

株式会社神戸製鋼所 IT企画部 次長 小寺 雄作氏
住友電気工業株式会社 執行役員 情報システム部長 奈良橋 三郎氏
UCCホールディングス株式会社 総合企画本部 システム企画部 部長 高橋 博一氏